



松並 陽一

消滅可能性自治体の とらえ方は

市長

小城市も対策を取るべきだという警鐘である

松並 将来地元で生活する重要性を、学校教育の場で学ばせることはできないか。

を持つ必要があるので、教育委員会としても十分指導していく。

松並 転出学生が一度に

集まる成人式を活用して、就職情報の提供等できないか。

自治体	2010年		2040年		若年女性人口変化率 2010年→2040年
	総人口	20-39歳女性	総人口	20-39歳女性	
小城市	45,133	5,277	35,258	3,233	-38.7%
多久市	21,404	2,152	13,287	966	-55.1%
嬉野市	28,984	2,903	19,475	1,357	-53.3%
鹿島市	30,720	3,265	20,469	1,714	-47.5%
神崎市	32,899	3,735	25,216	2,068	-44.6%
唐津市	126,926	13,586	88,947	7,708	-43.3%
武雄市	50,699	5,365	38,635	3,081	-42.6%
佐賀市	237,506	28,624	184,817	16,875	-41.0%
伊万里市	57,161	5,908	43,192	3,541	-40.1%
鳥栖市	69,074	9,406	77,944	9,180	-2.4%

▲出典：日本創成会議・全国市町村別「20～39歳女性」の将来推計人口

教育長 就職情報の資料の提供は可能だが、就職説明会の実施はすぐには難しい。

松並 人口予測の見直しは。

総務部長 今年度より検討していく第2次総合

も検討する。

交流プラザの 事業費の見直しは



永瀧 和正

市長

施設の中味について見直しは十分やってきた

永瀧 一般会計の予算は合併時約160億円程度であったものが現在は210億円、約40～50億円増えている。また、地方債（借金）の現在高は359億円、市民1人当たり78万円の借金である。財政厳しい折、交流プラザの総事業費は当初8億5千7百万円が23億9千7百万円、約2・8倍になっている。なぜ、総事業費が膨らんだのか。また、本年3月の当初予算成立後、6月には工事費が大きく補正されている。当初予算の範囲内で事業を遂行するための方をどう講じたのか。事業費の見直しはできないのか。

市長 当初の計画から平成24年5月に小城市公民館の機能を集約整備することとしたため、総事業費が18億2千9百万円となった。その後、実施設計をするなかで人件費、資材等の値上がり、消費税の増税等で工事費が更に4億2千3百万円必要となったので6月に建設工事費等の予算を追加した。この間、事業費の縮減等見直しに努めたが、このぐらいの規模はな

いと、この施設の目的とするところの機能は発揮できない。

その他の質問

○水害対策について



▲事業費を増額して建設される(仮称)まちなか市民交流プラザ

※PFIとは、公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の資金・経営能力および技術的能力を活用して行う手法。
※PPPとは、事業の企画段階から民間事業者が参加するなど、より幅広い範囲を民間に任せるといった手法。



下村 仁司

農業基盤整備の考え方は

市長

補助事業など検討し取り組んでいきたい

下村 圃場整備で作った道路や水路は一部現物提供はしているが、農家の所有物ではない。国所有の水路の泥土を水田に置いて借地料が無い。泥土処分は農家負担ではなく、事業ですれば5%負担である。

産業部長 地元には説明



▲水路浚渫された泥土の状況

していたが、最終的に再度県と協議していく。

下村 排水工事・水路工事・農道整備は、希望者や沿線負担ではなく、小

都市の農業生産額を上げる目的や防災面も考え、圃場整備のように一律面

積負担にするべきではないか。

市長 県、国に言うべき部分が多々ある。

障がい者福祉の現状は

下村 障がい者団体の先輩たちの長い間の運動によって築かれた障がい者に対する多くの助成の部

分があるの知らない障がい者がたくさんいる。

福祉部長 身体障がい者は市内に2,253名在住。

下村 障がい者や高齢者が利用しやすい、利用できる小城駅舎・牛津駅舎の改善や改修は。

総務部長 JR九州としては地元の強い要望と国の補助や市の協力があれば可能とのこと。要望を今後も続ける。

下村 困っている人は毎日困っている。一日も早く実現を。

分があるの知らない障がい者がたくさんいる。



西 正博

地域包括ケアシステムの構築は

市長

高齢者の、地域で安心な生活の継続には不可欠

西 「健康・福祉日本一を目指すまち」小城市として、システムの構築の現状や今後の方向性は。認知症対策については、どのように推進するか。

市長 介護保険法の改正

の中の位置づけで、市町村が中心となり実施していくものと考え。方向性としては、介護保険や行政サービスのみなでなく、ボランティアやNPO、地域の存在も重要となる。在宅医療・介護連携については、地域包括支援センターが中心となり、行政、サービス事業所や医師会などのネットワークづくりや個別事例

等も検討を行う。

福祉部長 認知症対策については、保健師、介護

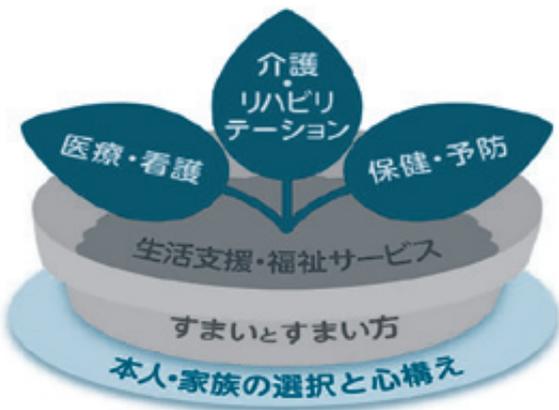
職員、医師などの専門職による認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の体制を早急に対応する。

生活支援コーデイネーターも早急に配置し、多様な生活支援サービスに取り組み。医療と介護の連携や、顔が見えるようなネットワークづくり、今後の介護サービスの

提供を進めていく。

その他の質問

○障がい者福祉の充実は
○臨時給付金の支給は
○学校でのアレルギー対策は



▲「5つの構成要素」(厚生労働省サイトより)



上瀧 政登

土地利用方針の計画は

市長

市内4か所をまちづくり推進
エリアとする



▲まちづくり推進エリアのうちの1か所である牛津駅南

形になるのか。

市長 三里地
区・小城駅南・荻刈

牛津駅南・荻刈
インターチェン
ジ周辺の4か所
を推進エリアと
したが、長期的
なスパンに立つ
て長い年月が必
要である。2、
3年でできるも
のではないと考
える。

小城・多久クリーン センターの建設

上瀧 小城・多久共同で

可燃物を焼却処分するク
リーンセンターの建設の

ための一部事務組合設立
の議案が提案されたが、
その規約はどうなってい
るか。

市長 平成32年の稼働を

目標に組合を設置。議員
定数は8名(小城市5
名・多久市3名)、経費
の支弁方法、管理者の設
置、事務局の設置等につ
いて規約を定めるもので
ある。経費の支出は稼働
開始までは平等割を各市
10%ずつ負担。残り80%
は直近の国勢調査の人口
の割合で算定し、稼働後
は人口割とごみ量割で負
担する。



富永 正樹

水難事故撲滅への 取り組みは

市長

危険箇所を把握し、パトロー
ルなどで対応していく

富永 「人命は地球より
も重し」という。事故が
あった箇所は水難死亡事
故発生箇所とか、水難事
故発生箇所といった表示
を施した看板や、小型船
舶用の救命浮輪などの小
城市版の統一した標識や



▲浮き輪などの統一された小城市版の救命道具の設置を
(神埼市の設置例)

救命道具の設置を考えて
もいいのではないか。

産業部長 九州農政局や

県からも農業用ため池の
安全管理徹底の指導を受
けている。地元の生産組
合長会などの機会をと
らえ、話をしながら
ら危険箇所の把握
をやっていき、ど
ういった対応がい
いのか協議してい
く。市民向けにつ
いても8月号の市
報で周知を図る。

筆文字教育を 通しての人づ くりについて

富永 現在、年1

回「小城市、書に親しむ
日」という事業をしてい
るが、日本梧桐と自認し
た中林梧桐翁の生誕地で
ある小城市でしかできな
い教育事業として、「書
に親しむ小城市」の
キャッチフレーズにシフ
トし、観光の広域化と併
せて筆文字に親しむ新し
い取り組みの考えは。

教育長 梧桐顕彰会など

いろいろな団体や、教育
委員会などに、議会から
提案があったことを伝え
ながらやっていきたい。

その他の質問

○農村公園の維持管理に
ついて



中島 正樹

中心市街地活性化事業の

成果は

市長

まだ問題点が多く
今後に対応していく

中島 平成21年6月30日に県内初として認定された中心市街地活性化事業で得られた成果と問題点、今後の対応についてどう考えるか。

市長 事業については計画に基づき推進している

中島 が、市の中で中心市街地を活性化するための課題はまだ山積している。この事業は本年度が最終事業年度となっているが、今後もしっかりと中心市街地に目を向けて対応していくことが必要だと考えている。

市長 将来的に茶屋は市の活性化のためには必要なこととなる方向性は持っている。

中島 小城公園高質化推進事業の中で安全性が確保できてない部分はないか。

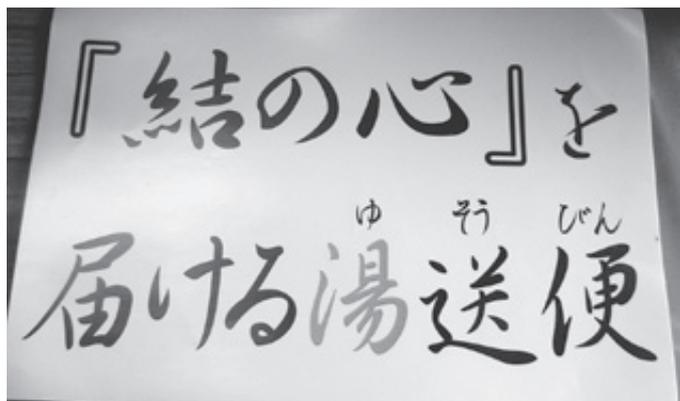
市民の安心安全の生活を守ることは必要不可欠では。

建設部長 危険性は十分認識しており、関係部局と協議して対応していく。

松尾 アイルの温泉活用について①寝たきりのお年寄りや障害を持つてある方へ月1回、自宅での温泉入浴サービスの提供について。②デイサービスセンターなどへ温泉を提供できないか。③2016年佐賀市で熱気球世界選手権が行われる。大会参加のパイロットやスタッフのアイルの温泉入浴サービスについて。

松尾 11年間1人暮らしの高齢者宅に週1回アイルの温泉を届けている事例もある。できないことを考えないで、できることを考えたらどうか。

市長 市で全てやるのは限界がある。CSOやボランティアで



▲11年続く「結の心」を届ける湯送便



松尾 義幸

寝たきりのお年寄りに

温泉入浴を

市長

ボランティアで温泉を届ける時は協力する

い。③大会参加者のために閉館時間を延長するサービスは考えている。しかしアイルの温泉をPRする意味では協力したい。

温泉を届けたいと相談があれば、十分対応していく。

りた方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は8月末の予定です。



諸泉 定次

消防団の人員確保強化策は

市長

性別にかかわらず消防団員を確保したい

諸泉 地域の安全確保に奮闘している消防団員の確保が難しくなっている。また、OBや民間人の保険適用、女性団員の人員確保の現状はどうか。

総務部長 本年4月1日現在、1,048人で減少傾向に歯止めがかかった。また、OB会へは公費負担で公務災害補償等共済制度を活用している。女性消防団員も働きかけている。

諸泉 昨年12月に処遇改善を目的に消防団支援法ができた。ところが小城市は火災・水害・行方不明捜索の担当はゼロ。県内他市は出しているが。

総務部長 平成24年度まで出動手当は出してない。消防団と協議して平成25年度から行方不明捜索活動について費用弁償を行った。今年度からは火災・水害等の活動にも同様の費用弁償を行う。

諸泉 今後3か年間、団員獲得の対策事業費が計上されているが、女性団員も含めて、具体的な目標数を掲げているのか。

総務部長 県の基準を目標と考え、何人とかの目標数は掲げていない。

その他の質問

- 小城市の防災対策
- フッ化物洗口の課題
- 教職員の多忙化解消対策



▲住民の生命を守る消防団の夏期訓練模様



樋渡 邦美

小城市の情報公開について

市長

機能的また柔軟に対応できていると認識している

樋渡 情報公開については市はどのような姿勢で対応しているか。

市長 NPO法人市民連絡会議佐賀が公表した資料によると、小城市の公開の基準や透明度は県内20市町と比較して高いほうに位置づけられており、柔軟に対応できていると認識している。

樋渡 情報公開条例に基づく開示請求による公開と、一般的な情報伝達つまり行政広報による情報伝達との区別はどうか。

総務課長 条例では、情報公開の対象としている

文書については決裁文書に限らず非決裁文書も公開の対象としている。行政広報はホームページや市報で、情報公開される対象文書はあくまでも公文書が対象である。

樋渡 住民が知る権利の保障で、正式な情報公開請求をしないと公文書は公開できないのか。

総務課長 行政サービスの一環として情報を提供する場合、情報公開請求を出してくださいというケースはほとんどない。

情報公開の対象としている

とんどない。

その他の質問

- 市道江利・大寺線の改良事業状況について



▲道路改良中の市道江利・大寺線



江島佐知子

国際化に向けて

前向きな対応を

市長

情報の提供などでサービスを充実させたい

江島 ①小城市在住外国人の現状と対応について。

②相談体制は。

③日本語教室について。

市長 ①17カ国133人の方が住民登録している。近年増加傾向にある。窓口には家族や事業所の方が一緒に来られているが、今後は語学ができる職員の配置も必要である。

②特にないが、相談があれば佐賀県国際交流協会を案内する状況である。

③有志で日本語教室が開かれており、10人程度が参加しているが、活動を知ってもらうような支援が必要と考える。

江島 ④外国人観光客へ

の案内板やパンフレット等はどうかっているか。

⑤外国人観光客誘致の戦略は。

商工観光課長 ④小城公園内の案内については一部英語、中国語の表記をしている。

⑤団体客を主に考えている。今年3月に神埼市・吉野ヶ里町・佐賀市・多久市で広域観光等推進委員会を組織した。佐賀空港に来る観光客をターゲットに



▲小城公園内の多言語表示の案内板

して協力していきたい。

その他の質問

○「特別支援教育の充実」について



香月チエミ

協働のまちづくりは

なぜ必要か

市長

地域の維持、活性化のため総合的に進める

香月 市民活動センター「ようこそ」は、平成20年小城公民館の1階に開設され、現在はコーディネートを中心に、よろこそ運営協議会が運営主体となり、ここを訪れる様々な人や団体の活動を支援している。(仮称)まちなか市民交流プラザに予定されている市民活動支援センターについて、市の施設としてどのよう

に管理運営していく考えか。

総務部長 (仮称)まちなか市民交流プラザの2階に市民の活動拠点を設置する計画で、市の市民活動支援センターとして位置づけ、市民活動の育成、

企画課長 必ずしも賃金を保障するということではな

支援、情報収集、情報提供など実施し、協働の担い手として多様なCSOの育成、支援に努めていきたい。

香月 管理運営の核となる人や団体については相談対応、情報収集、情報提供、コーディネートなど中間支援の専門性が必要だ。人材確保のため人件費の保障の考えは。

香月 管理運営の核となる人や団体については相談対応、情報収集、情報提供、コーディネートなど中間支援の専門性が必要だ。人材確保のため人件費の保障の考えは。

企画課長 必ずしも賃金を保障するということではな



▲市民活動センター「ようこそ」

その他の質問

○定員管理の適正化について

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は8月末の予定です。



深川 高志

中心市街地活性化の状況は

市長

中心市街地を盛り上げる機運が高まっている

深川 中心市街地活性化事業は、小城市の特性を生かした魅力とにぎわいの創出に積極的に取り組む具体的なプランを策定し、平成21年度より実施されている。残りあと1年弱となるが、現在の状況とこれまでの取り組みで地域との連携、住民意識の変化、まちなかにぎわいなど若干でも変化があったのか。

市長 基本計画に基づく状況として、現在、小城市の高質化推進事業、JR小城市駅周辺環境整備事業は、今年度整備完了を目標に取り組んでいる。(仮称)まちなか市民交流プラザ等の整備事業

は今年度の速やかな工事着工を目標に取り組んでいる。ソフト事業については、まちなかの駅ネットワーク、空き店舗対策チャレンジなど、商店街の振興に取り組んでいる状況である。ソフト事業に関しては、元気を中心として、物産市、朝市、イベントへの参画など動きが出てきている。民間の皆さんたちの協力で、何とか中心市街地

を盛り上げていかなくはという機運が高まっている状況と思っている。



▲中心市街地活性化事業の拠点である「おぎ元気館」



光岡 実

認知症高齢者の現状と対策は

市長

推計570名、いろいろとトラブルも発生

光岡 認知症高齢者の行方不明者は全国で1万3百人。県内の認知症高齢者は2万人と言われているが、小城市の現状と対策は。

市長 介護保険認定者のうち認知症を原因疾患として認定を受けた者の割合から推計すると約570名、軽度の認知症まで含めるともっと多くの患者がいると思われる。また、市内でも事故、トラブルは発生しており、警察での保護件数は昨年度で13名、第三者とのトラブルはここ5年間で56件発生している。

期診断を含む予防対策として、認知症に関する出前講座、予防教室を開催している。また、認知症サポーター養成講座もこれまで93回開催し、2803名のサポーターが誕生。総人口に占める割合は県平均よりかなり高い状況である。今後、この認知症対策は先進地の取り組み等も研究していく。

○県道小城市富士線の整備について
○(仮称)まちなか市民交流プラザ等の整備事業について

福祉部長 早期発見、早



▲脳いきいき教室



▲田植えがすんだ市内の水田風景



平野 泰造

農地中間管理事業の
取り組みは

市長

市広報「さくら」やホームページで周知したい

平野 農地の貸借に対する支援制度は、4月1日指定された県の間管理機構（農業公社）での認可が必要である。7月に貸借の公募が行われるため農家への早急な周知を図れないか。

市長 農業委員会がこの事業の推進に努め、貸借希望農家への相談窓口を設置したい。市は機構からの情報による借り受け、貸し付け希望者の農地を集積した「農地利用配分計画」案を作成する。周知については市広報「さくら」7月号と市のホームページ、県は「県民だより」、JAは広報紙に掲載する計画になっている。

市で独自の教育改革が発信されているが、小城市の教育方針は。

②教育での定住促進はできないか。

教育長 ①「城創伝心」小城市の歴史と伝統を受け継ぎ、文化と創造する豊かな心を育む人づくりを目標とし、公教育であり基礎基本の定着や学習への意欲の向上が基本。学

力向上研究会の組織の立ち上げ、ICT利活用教育に取り組む。

②色々な子育て支援や放課後児童クラブ、ICT活用教育の充実など、教育でのまちづくりが定住促進につながると考える。

小城市の教育
について

平野 ①県内他

小城市議会報告会を
開催しました。

去る7月29日(火)と30日(水)に、市内4会場で、行いました。

ご来場いただいた市民の皆さま、ありがとうございました。

内容につきましては、次号でお知らせ致します。



▲昨年の議会報告会の様子

小城市森林・林業活性化
促進議員連盟が発足

森林・林業のために必要な事項を協議・検討すると共に自然環境や国土の保全、水資源の^{かんよう}涵養等多くの公益機能を活性推進し市民生活の潤い、安らぎに資することを目的として発足された。

※涵養とは…無理をしないでゆっくりと養い育てること。



表紙の紹介

梧竹観音堂（明治41・一九〇八年落成）

小城市史跡（二日月町金田一一四〇）。堂内には、聖観世音菩薩像2体が安置され、隠元禪師筆の「観世音菩薩」と梧竹筆「寂滅場中活路通」の木額や、中林家先祖代々、小城藩主、先師（草場佩川・山内香雪・余元眉）の位牌が安置されている。明治42年には、今はないが御物を納める鳳凰閣を傍らに建立。現在の三日月堂は昭和24年の台風で倒壊したため、昭和32年に規模を縮小して再建されたもの。今は4代目当主、中林秀利氏の手によって守られている。